

ニコニコ

- 根路銘様 初めて、メーキャップ致します。沖縄那覇東 RC 根路銘です。宜しくお願い致します。
- 鈴木会員 ①那覇東 RC から私の沖縄の友人根路銘君をお迎えしました。
②ロータリーの友11月号の裏表紙の裏に我らのクラブ会員小泉博明君が載っていますので。
- 小林会員 根路銘様 今日お会い出来て大変嬉しく思います。来年は沖縄訪問の予定です。よろしく。
- 小泉会員 「ロータリーの友」11月号、裏表紙をご覧ください。ロータリー読者モデルになりました。
- 里見会員 69回目の誕生日を迎えました。まだ若者の気持ちで、これからも前向きに過ごしたいと思います。
- 加古会員 卓話の小林康徳様、那覇東ロータリークラブ根路銘様 ご来会ありがとうございます。
- ☆指定ニコニコ
社会奉仕委員会 佐藤(久)会員 本日より立冬で初雪も観測。今期の社会奉仕活動、こども講談に応援ニコニコします。
- 本日の合計額：33,000円
今年度ニコニコ累計額：188,000円
今年度指定ニコニコ累計額：11,000円

社会奉仕委員会・ビジョン委員会 合同ホームミーティング報告

11月7日(木)18:00から、メトロポリタンホテル「桂林」にて社会奉仕委員会とビジョン委員会との合同ホームミーティングを開催した。会長、副会長、幹事、ガバナー補佐と他委員会の委員も参加し、幅広く意見交換を行った。

さて、共生 (conviviality) とは、英語の語源を探ると饗宴であり、酒を酌み交わし、お互いに肝胆相照らし、活発な意見の交換をし、合意形成をすることにより生まれるものである。ロータリークラブにとって、ホームミーティングとは、このような作用と効果があり、場合によっては化学反応を起こすことにもなる。今回のテーマは「ニコニコボックスについて考えよう」であるが、会員からは多面的、多角的に、そして縦横無尽に話題が提供され、一つの結論へと収斂はしないが、

ロータリーの現状を踏まえ、ロータリーの未来を語る価値ある時間を共有することができた。なお、鈴木孝雄パストガバナーより美味しいワインの差し入れをいただいた。感謝申し上げる。
(参加者：石川宜司、小代順治、小泉博明、榊原一久、佐藤久雄、里見雅行、鈴木孝雄、高木義男、山本伸也、吉田武輝 10名)
(記 ホスト小泉博明)



第5回定例理事会議事録

日時 2024年11月7日(木)11時~12時

議題

報告事項

- 1) 会計報告：別紙参照
- 2) 国際ロータリー為替レート：153円/\$
- 3) 2024-2025年11-1月例会予定
・11/21卓話は会員スピーチ予定
・1/16 職業フォーラムは依頼予定有り
- 4) 次年度役員・理事候補者の推薦
- 5) 指名委員会の推薦
- 6) 事務局リモートワーク準備
準備完了。11月15日より実施予定
- 7) その他
・12/5 年次総会：次年度役員理事選挙、米山普通寄付
・12/12 協議会：クラブビジョン、会計・幹事等で実施

審議事項

- 1) こども音楽フェスティバル
・3/25実施で決定。当日スケジュールは、全員歌唱「としま未来へ」、その他演出は令和ミュージック等の意見を取り入れ実行委員会にて決定する
- 2) その他
・ロータリアンによる卓話の謝礼・交通費は、地区方針に従い無用とする。



Weekly Report



会長：佐藤久雄 幹事：高木義男 RI会長：ステファニーA.アーチック 第2580地区ガバナー：石川彌八郎

本日の例会

11月14日(木)12:30~13:30

卓話：「家庭裁判所について」

～朝ドラ主人公のモデル

三淵嘉子さんが目指したもの～

卓話者：石井葉子様

紹介者：細田新子会員

次回の例会

11月21日(木)12:30~13:30

卓話 会員卓話

加古博昭会員・細田新子会員

11月7日 例会報告

司会 長尾会員
開会点鐘 佐藤会長
ロータリーソング
ソングリーダー 小泉会員

☆会員総数 33名
☆出席規定適用者数 27名
★本日の出席者総数 26名
★免除者出席数 5名
★本日の出席率 81.25%

☆ゲスト

小林 康徳様

卓話者/地区ポリオプラス副委員長
東京向島ロータリークラブ会長

棚川 恵温君 青少年交換派遣予定学生

☆ビジター

根路銘 敦様 那覇東ロータリークラブ

会長報告

1. 個人情報の取り扱いに関しまして
昨今、個人情報に関する様々な問題が発生しているため国際ロータリー第2580地区としても適応の準備を進めているところです。恐れ

【名著を読む】

斎藤茂吉『赤光』

精神病医で歌人の茂吉の第一歌集である。『万葉集』以来の日本の伝統と、西欧近代の精神と、作者その人の生との完全な融合を示した歌集と評される。とくに「死にたまふ母」の連作が有名で「のど赤き玄鳥ふたつ屋梁にゐて足乳根の母は死にたまふなり」の歌がある。(小泉博明)

入りますが、ガバナー事務所に直接お問い合わせいただきましても会員各位の連絡先などに関してはお答えすることができませんのでご了承いただきたくお願い申し上げます。お問い合わせがございました場合には各クラブ事務局にお問い合わせをいただきたくようお願いしております。地区幹事 木村敦史

2. としまこども音楽フェスティバルについて
・外国籍の児童も参加し、音楽を通してこどもの情操を育み、楽しく日本の伝統文化などを学ぶ機会を作ることがイベントの趣旨
・来年3月25日(火)に、としま区民センター多目的ホールで開催
9月の例会で卓話をいただいた大木凡人氏が司会、例会ゲストの令和ミュージック伊藤氏が企画運営を担当
・豊島区内の小学生から中学2年生まで、60~65組のエントリーを計画、カラオケの伴奏で1人または数人で歌う。
・各団体を通じた募集が中心。12月初旬募集開始、2月14日申込締切
・既に豊島区の後援を得ているほか、区内企業、報道機関等に協賛・協力をいただく。当ロータリークラブ会員所属の会社にもご協力いただいております、感謝。
・会員の皆さんには、開催準備、当日の案内や受付、ご来賓の応対などでご協力をお願いしたい。

幹事報告

1. 国際ロータリー為替レートの発表(2024年11月)
1.00ドル当たり 153円

ロータリー財団へは、先月のレート(142円/\$)で寄付済みです。

2. 本日配布の「ロータリーの友」11月号、裏表紙見返しに、小泉会員の写真が掲載されていますので、是非ご覧ください。



総括 鈴木PG



青少年交換派遣予定学生 棚川恵温君



米山功労者第6回マルチプル 吉田秀得会員



11月お誕生日 里見会員

11月7日 卓話報告



ロータリー経歴書
氏名 小林 康徳
こばやし やすのり
1968年9月25日生まれ (55歳)

- 2014年 東京向島ロータリークラブ入会
2018-19年度
第2580地区 RYLA委員会 委員
チームポリオ・ジャパン (インドNIDに参加)
2019-20年度
第2580地区 RYLA委員会 委員(カウンセラー)
2020-21年度
第2580地区 RYLA委員会 副委員長
第2580地区 東京向島ロータリークラブ 幹事
2021-22年度
第2580地区 RYLA委員会 委員長(ディーン)
第2580地区 青少年奉仕委員会 委員
第2580地区 危機管理委員会 委員
2022-23年度
第2580地区 副代表幹事
第2580地区 研修チーム委員会 担当幹事
第2580地区 RLIファシリテーター委員会 担当幹事
第2580地区 学友フェローズ委員会 担当幹事
第2580地区 東分区大澤 AGチーム
担当5クラブ 担当幹事
第2580地区 RYLA委員会 副ディーン
チームポリオ・ジャパン(パキスタンNIDに参加)
ISFR 日本支部 幹事
2023-24年度
第2580地区 ロータリー財団 ポリオプラス委員長
第2580地区 米山奨学委員会 委員
チームポリオ・ジャパン(パキスタンNIDに参加)
2024-25年度
東京向島ロータリークラブ 会長
第2580地区 ロータリー財団 ポリオプラス副委員長
第2580地区 単独パキスタンNIDに参加予定
チームポリオ・ジャパン(カイバル畔に現地視察) 予定

パキスタン・イスラム共和国
ポリオ NID に参加して

2023年3月11日~15日の日程で、チームポリオ JAPAN 第2班 国際ロータリー第2690地区パストガバナーの松本団長(益田西 RC) 以下メンバー12名で、パキスタン NID に参加してきました。ポリオ常在国は、アフガニスタンとパキスタンの2か国となっています。パキスタンの人口は

2億2千万人(世界第5位)、面積は日本の2倍、首都はイスラマバードですが、最大の都市、アラビア海に面したシンド州の州都カラチで活動してきました。アフガニスタンの国境近くは、タリバンと呼ばれる勢力が今でもテロ事件を起こしていますが、カラチは比較的安全なエリアで在留邦人数も1千人程、進出している日系企業も80社ほどあるようです。我々は、地元の WHO 職員や、ポリオワーカーと呼ばれる、ワクチン投与活動を仕事にしている方々と共にワクチン投与活動に参加してまいりました。最初に訪れた場所は、商業や経済の中心であるカラチには、毎日、地方から大勢の方、(アフガン難民も含め)がバスや鉄道を使い入ってきます。そこで、ハイウェイにポリオステーションなるものを作り、カラチに入るバスをすべて止め、一台一台停車させ、バスの中に乗り込み子供が乗っていないか確認しワクチン未接種の子供には、その場でワクチンを投与する活動です、僕が訪れたステーションは33名のワーカーさんが2交代24時間体制で365日、活動しております、真夜中や明け方に通過するバスがかなりあるようです。この場所ひとつで、ひと月に7万人から、多い月には10万人の子供にワクチン投与をしております、こうしたハイウェイステーションがカラチには8ヶ所もあるそうです、次に訪れた場所は、鉄道の駅です、ここも先程のハイウェイと同じ様に、駅に停車中の列車に乗り込み



子供の確認、投与、列車をホームで待つ人々も、歩いて子供の有無を確認、そして投与する、ワーカーさん達も同じ様に20名くらいで、毎日、始発から終電まで、駅で活動をされていました。次に訪れたのは、一番大事な活動である、気温40度の中、(夏場は50~60度になるらしい)一軒一軒、戸別訪問しての活動です、戸別訪問と言っても、家というよりは、簡易テントに近い感じです、報道番組など、TVで見る難民キャンプです。一軒一軒訪ねて行き、投与活動した情報(子供の数や、訪ねた時には居なかったなど)は、住民台帳のようなものもない(当然、地図もありません)ので、テントの外壁というか、覆ってある布にチョークで書きます。雨が年に15日くらいしか降らないので、チョークでも消える事は無いそうですが、布を張り替えると分からなくなるそうです。毎日、毎日、刻々と人が流れて、また入ってきて勝手に住み着いてしまうので、いっけん非効率に思えるこの活動は、とても大事な活動となります。この様なワーカーさんは、パキスタン全土に25万人から30万人が毎日、活動しております。ワーカーさんになるには、ワクチンの温度管理の教育や、他の色々な教育訓練を受けて、初めてワーカーになれますので、ひと月のお給料は、日本円で15000円くらいとの事です、5000~7000万人、子供がいると言われております。ワーカーさん達の毎日の地道な活動に心より感謝を申し上げます。

